

卵胎生メダカのなかま

繁殖にTRYしてみよう

熱帯魚の中で最も優雅で美しいヒレをもつグッピーは、メダカの仲間。血統が多くあって、「熱帯魚はグッピーに始まり、グッピーに終わる」といわれるほど奥が深い魚なんだ。卵胎生といって、メスは卵ではなく赤ちゃんを産むんだよ。比較的簡単なので、チャレンジしてみよう。



ブルーグラス

非常に人気の高いブルー系。尾びれの細かい模様と目に涼しい淡いブルーが印象的。



キングコブラ

濃い黄色と青緑の色彩と、尾びれの幾何学っぽい模様が目を引きつける人気種だ。



モザイク・タキシード

タキシードを着たようなシックな体色と、派手なヒレの色彩とのコントラストが映える。



レッドプラティ (6cm)

全身が真っ赤なプラティで、ショップで必ず目にするタイプ。そのほとんどが改良種。



ブラックモーリー (8cm)

全身が真っ黒に染まる姿は存在感アリ。大きな背びれのふちが黄色いのはオス。水槽の藻も食べてくれるよ。

グッピーの体長
オス：3cm～4cm
メス：4cm～6cm
優雅なヒレが邪魔をして、強い水流は苦手。



クレストグッピー

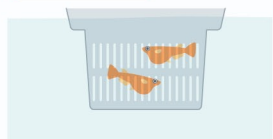
グッピーの嗜好性を追及し、健全な成長と繁殖を目的に良質の原料を豊富に配合した高タンク飼料。

口当たりがやわらかく水を汚しにくい マイクロコーティング顆粒を採用

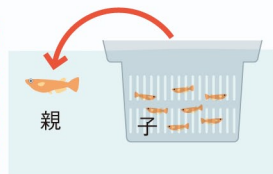
クレストグッピーとカラシは小さな口でも食べやすい、やわらかな口当たりの顆粒形状。そして顆粒を極薄い皮膜で包むマイクロコーティングを施すことで、大切な栄養が水に溶けることなく、水の汚れも防止します。

グッピーをはじめとした、赤ちゃんを産む熱帯魚は最も簡単に繁殖できる種類なんだ。混泳水槽だと赤ちゃんが他の魚に食べられてしまうので、単独飼育で赤ちゃんを増やしてみよう。

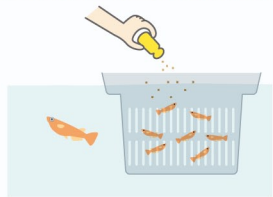
飼育方法



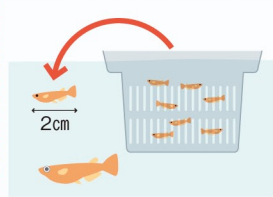
①メスのおなかが大きくなったら、赤ちゃんを産む場所として産卵ケースを設置。その中におなかが大きくなったメスを入れよう。



②赤ちゃんを産んだら、親が赤ちゃんを食べてしまうので、親を元的水槽に戻そう。



③赤ちゃんは産まれた直後から5mmほどの大きさ。稚魚用のエサ「ひかりバビイ」や「ベビーブラインシュリンプ」を与えよう。



④体長が2cmくらいになったら、元的水槽に戻そう。

稚魚専用飼料

《人工飼料》



ひかりバビイ

稚魚に必要な栄養を全て含んだ微粉末フード。

《冷凍飼料》



クリーンベビーブラインシュリンプ (0.5～0.8mm) / クリーンワムシ (0.25～0.35mm)

プランクトンの体内にビタミン、DHA、EPAを取り込ませて急速冷凍した小さなバイオカプセルフード。